

「笑うこと」中和倉

「笑いのない日は無駄な一日」 喜劇王チャップリンの言葉です。日常の中で笑う事は多々あるとは思いますが、デイサービスでおこる笑いとはどんなものでしょう？私も振り返ってみました。

- ・ご利用者様と作ったドーナツを揚げたら、火力が強すぎて真っ黒になってしまった事。
- ・滑りますからねと、声掛けをしていた職員が、ご利用者様の目の前で派手に転んだ事。
- ・時空に時計を消す手品をしていたところ、本当に驚いて、ご利用者様の入れ歯が外れた事。
- ・いきいき宝くじを確認していたところ、1等・2等・3等と当たり、びっくりし過ぎてご利用者様が尻餅をつかれた事。(その時は笑えず、まったく怪我もなかった事がわかり大笑いしました。)
- ・自分がぎっくり腰になり、ご利用者様のカートを借りて歩行する姿を見て、大笑いされたご利用者様が今度は、午後具合が悪くなり、救急車で搬送。自分もぎっくり腰のまま同伴。後に二人とも回復し大笑いしました。

笑いとは、人が一生懸命に生きている日常の中に、軽率さや、予想を超えるハプニングが顔をだした時に生まれるものです。とはあるご利用者様の言葉です。我々職員は、芸人ではありません。今流行りの笑いを真似したりする必要は全くありません。

日常に耳を澄ますように、ご利用者様に尋ねればいいのです。「こんな笑い話あったよ。」と必ず教えてくれます。人を陥れたりする事で生まれたり、笑うことを無理やり強制される笑いではなく、ありふれた笑い話がたくさん転がり出てくるはずですよ。今日も全ての事業所で沢山の笑い話が咲いている事でしょう。(古賀)



「ステージでカラオケ披露」常盤平

Iさんは以前、地域のカラオケ大会に参加され歌声を披露されていました。「有名芸能人に会ったこともあるのよ！」とスタッフに写真を見せてくださることもありました。病気をされ言葉の出にくさがありご自宅では言葉の練習に励まれ、デイではカラオケを毎回選択し2時からの開始時刻を意識されながら過ごされています。ある日のお話の中で「もう一度ステージに上がり、カラオケを披露したい！」という思いをお持ちであることが分かりました。そこで、いきいき舎中和倉にはステージがあり、発表する場があるとお伝えしました。その日から、ますますリハビリに対する意欲が増されたIさん。ステージで姿勢よく立って歌うことができ、また力の入りにくい右手でマイクを持てるよう目標を決めました。それまでは、座ってカラオケをされていましたが、立って歌う機会が増えてきました。すると「立って歌うと声が出やすい」とIさん、嬉しい相乗効果が！3月末のステージ発表に向け、ますます練習に力が入るIさんの歌声が今日も響いています。みなさんも得意なこと、挑戦したいことを私たちスタッフに教えてください。または、会話の中から私たちスタッフがそれを見つけ出し、提案させていただくこともあります。小さなことから構いませんので、実現できるようお手伝いさせていただきます。(富田裕)



“セラピスト”報告

車椅子自操作

夏頃にしりもちをつき転倒、骨折をしてしまい一時は歩行も困難だったh様ですが「写真を通じ多くの方に外の風景をみせてあげたい」という目標に向け週4回リハビリに取り組みられています。いつもウォーキングマシンを25分以上、ジムマシン、平行棒内でのトレーニングなどで足を重点的に鍛えています。現状は電車で東京の方に買い物に行けるようになったり友人と写真展を行ったりと怪我をされる前に近い移動動作が取れるようになってきました。h様は外出された様子、その時の身体状態を事細かに必ず報告していただきます。その中に今後の課題が浮き出てきました。先日カメラ撮影をしようとカメラ道具一色を背負って自宅を出た際にバランスを保つのが困難になり、このままだと危険と感じ仕方なく自宅に引き返しました。

現在はh様と話し合い、重い荷物を持つ移動・被写体に対する姿勢・足場の悪い場所でも撮影を行なえる為の行為動作をプログラム組み込んで始めています。またh様のリハビリの進行具合と新作の写真をいきいき日誌で報告していこうと思います。(紺野)



「1年間のリハビリを」松戸新田

ご紹介する山崎様、今では1人で電車やバスに乗り生活の幅も広がっておりますが、ご利用当初は、退院後ということもあり下肢に力が入らず躓きや転倒が続いておりました。また、以前右肩を骨折していたため腕の動きに制限があり、衣類の着脱や入浴時髪を洗うなど腕を上げる動作が困難など日常生活を送る上で大きな支障がありました。

そこから1年リハビリに加え、運動や生活時のアドバイスを実施。ご本人様の努力もあり、現在は腕も以前に比べ上がり易くなり、転倒なく生活がおくれているとのことでした。今年に入りいきいきサポーターにも参加され、仕事で培ってきた技術を発揮。現在、山崎様の手がけて下さったステッカーを貼った送迎車が走っております。日常生活では、自分で髪を染めることが出来たと照れながらお話し下さいました。最近では、復職に向けた気持ちが大きくなっているとのこと、3月で松戸新田のリハビリを、そして介護保険からも卒業するとのことでしたが、新しい生活に向けビジョンを描かれている様子です。卒業後も、いきいきサポーターを通じ生活の一部として下さればと思います。(坪)



「アハ体験」牧の原

牧の原では、週替わりで脳トレを提供しています。中でも最近、【思い付き暗号クイズ】という、イラストや記号から言葉や物事の名前を連想するクイズが人気です。1人でコツコツと取り組まれる方もいれば、何人かで知恵を出し合い答えを出すのに盛り上がりたりと良い交流のきっかけにもなっています。バラバラに散らばっていた知識が瞬間的に突然繋がるような、「あっ！」と不思議なひらめきを感じる体験を【アハ体験】と言います。あまり聞きなれない言葉ですが、ひらめいた時のスッキリした感じや、緊張が解けると同時に大きな喜びを感じる心の動きを体験する事は脳に良い刺激となり、脳の回路が著しく強化されるそうです。脳トレ問題を楽しみながら、脳を活性化していきましょう。(宍倉)

自立支援ランチ MENU (11:00~12:30)

松戸二十世紀



常盤平



牧の原・松戸新田職員ランチ



中和倉



北小金



◆昼食(有)・常盤平 ・中和倉 ・北小金 ・松戸二十世紀  
◇昼食(無)・牧の原 ・松戸新田 ※お食事と入浴サービスはございません。予めご了承下さい。

## 職員紹介

今月は“牧の原”のリハビリワーカー  
“岡田守弘”を紹介いたします。

Q1 出身地は？ Q2 趣味は？

A：東京都葛飾区 A：サーフィン

Q3 最後の晚餐？

A：寿司  
喜：靴を4色購入  
怒：特になし  
哀：老眼が進んだ  
楽：スーパー銭湯上がりのビール

Q4 最近の喜怒哀楽は？



## 自立支援の取り組み

車椅子でも活動範囲が広がります

足腰が悪くなったときに大いに私たちの助けとなってくれる車椅子。北小金でも利用している方々が数名いらっしゃいます。しかし、自宅では狭くて車椅子を自分で操作し移動することもなかなか難しい場合が少なくありません。そのためつつい自分で車椅子を操作することを忘れがちになってしまいます。

そんな中Aさんも車椅子を使用されていますが、食後歯磨きへ行くときはできるだけ自分で車椅子を漕ぎ洗面台まで移動していただいています。最初はこちらで2~3m車椅子を漕いでもらい、徐々にできるようになったら一人で短い距離を漕ぐようにしてもらいました。スタッフは歯磨き用具を用意したり声かけしたりするだけですが、少しずつ挑戦することで今ではなんとか最後まで一人で洗面台まで行けるようになってきました。

今後、飲み物や配膳下膳と少しずつ動ける範囲を広げる事で自分のタイミングでしたいことができるようになり「待っている」というストレスも減らすことができると、自ら動くことで自然と体力もついてきます。このようにスタッフは日々少しずつご利用者様のできることを観察させていただきながら、その人のレベルに合わせた介助量や介助の仕方を工夫しながら対応させていただいています。今後もより一層ご利用者様とできることを一緒に考えていきたいと思っております。

(横山)



## 株式会社いきいき舎

ホームページアドレス <http://www.ikiikisya.com/>

〒270-2253 千葉県松戸市日暮 1-1-1 八柱第2ビル6階C号室 TEL047-312-9050/FAX312-9053

- ◆通所介護◆ -生活総合リハビリテーション事業所- -介護依存度の高い方への支援サービス- -認知症支援サービス-
- ◆デイホームいきいき舎常盤平 松戸市常盤平 1-4-1 ☎047-394-5110/FAX394-5111
- ◆デイホームいきいき舎中和倉 松戸市中和倉 172-1 ☎047-309-6532/FAX309-6533
- 生活期療養支援事業所- -中重度者リハビリ強化型-
- ◆リハビレテ`体`いきいき舎北小金 松戸市小金 341-3-1F ☎047-712-0321/FAX712-0322
- ◆リハビレテ`体`いきいき舎松戸二十世紀 松戸市松戸二十世紀丸山町 76 ☎047-382-5120/FAX382-5121
- セラピストによる短時間リハビリテーション事業所-
- ◆リハビレステーションいきいき舎牧の原 松戸市牧の原 2-5 1-21 号棟 103 ☎047-394-7710/FAX394-7711
- ◆リハビレステーションいきいき舎松戸新田 松戸市松戸新田 392-1 ☎047-308-7001/FAX308-7002
- 脳血管・整形疾患特化型リハビリ施設-
- ◆リハビリセンターいきいき舎さくら通り 松戸市常盤平陣屋前 6-6-101 ☎047- /FAX
- (デイホームいきいき舎常盤平サテライト事業所)
- ◆自費訪問リハビリテーション◆
- ◆Vital-バイタル- ☎047-312-9052/FAX312-9054



生活総合リハビリテーション  
いきいき日誌

平成30年3月  
126号

今月の笑顔

春の笑顔



ご案内

脳血管・整形疾患特化型リハビリ施設開設

「リハビリセンターいきいき舎さくら通り」OPEN！平成30年5月に松戸市常盤平陣屋前 6-6-101 に脳血管・整形疾患特化型リハビリ施設短時間デイサービスを開施設致します。この事業所の開設により益々地域に密着したサービスを提供させて頂ければと考えております。なお、オープン前に内覧会・体験リハ等を開催予定です。詳細が決まりましたらご案内させていただきます。何卒、引き続き暖かいご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(名称)「リハビリセンターいきいき舎さくら通り」  
(事業開始)平成30年5月1日(火)

上記に関する問い合わせ：☎047-394-5110 (開設準備室)

**“20分個別機能訓練を実施”**  
医学的根拠に基づいた効果的なリハビリを提供します。



## 「最後まで主体的に生きる」ことを支援いたします。

私たちは、次の理念・基本方針に基づき、デイサービスにおいて最善の介護サービスを実践できるよう努力して参ります。そして皆様に「価値創造型ワクワク感」を共感して頂きます。

### I. 運営理念

- 1.ご利用者様の自主性を尊重します。
- 2.デイホームでの生活全てをリハビリとして位置づけます。
- 3.介護・医療依存度の高いご利用者様をはじめ個別ケアを前提とします。

### II. 基本方針

- 1.過剰介護をせず、ご利用者様の自主性を尊重し、残存機能の維持・向上・回復のための諸施策を通じてQOLを高め「自立して頂くこと」を目標とします。
- 2.デイホームにおける日常生活全てを社会参加や機能訓練の場であるとの考えに基づき、PT・OT・STによる機能訓練のほか様々なリハビリの仕掛けやアクティビティのプログラムを工夫・提供します。
- 3.ご利用者様一人一人の身体状況に応じた個別な処遇を行います。ご自身でできる事はできる限りご自身で行って頂きますが、介護・医療依存度の高い場合等は、ご利用者様の状況に応じた積極的支援を丁寧に行います。